

寄居町企業誘致推進パートナー 委嘱状交付式を行いました

町では、大槻茂崎玉リそな銀行寄居支店長、坂本忠夫武蔵野銀行寄居支店長、石塚修埼玉縣信用金庫寄居支店長、内田善久熊谷商工信用組合寄居支店長の4名（写真後列左から）に対する寄居町企業誘致推進パートナーの委嘱状交付式を9月3日に行いました。

資金計画など企業経営についての専門性を有する民間のパートナーと町が協働して、効果的な企業誘致活動を推進していくことを目的としたものです。



津久井町長が 町最高齢者等を表敬訪問

9月16日に津久井町長が、町の女性最高齢者である鳥塚つねさん(103歳)と男性最高齢者の小林四郎次さん(100歳)、本年度100歳を迎えられる影山やゑ子さん、内野せいさんを表敬訪問しました。

津久井町長が、皆さんに町からの祝品を贈呈するとともに、100歳の方々には国からの祝状等を伝達し、これからも長生きされるよう激励しました。



鳥塚つねさん



小林四郎次さん



影山やゑ子さん



内野せいさん

戸森瑛美さん、奈良美沙季さん 全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会出場!

第12回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会が、8月25日から29日まで、福島県の「Jヴィレッジ」で行われ、寄居町から大宮FCエンジェルス05所属の戸森瑛美さん(常木・寄居中学校3年)と奈良美沙季さん(五ノ坪・城南中学校3年)が出場しました。

大会では予選グループで3位となり、惜しくも決勝トーナメントへ進出することはできませんでした。

戸森さんは、「全国という舞台は、今まで経験した試合と比べものにならないくらい緊張と迫力がありました。とても貴重な体験になり、大切な思い出にもなりました」奈良さんは、「全国の強豪ばかりで厳しい試合でしたが、その中で

“つらさを楽しむ”ということができたと思います。この大会で得た、たくさんの収穫と課題を生かし、将来は“なでしこジャパン”になりたいです」と話してくれました。



(写真左・奈良さん 右・戸森さん)

寄居中学校吹奏楽部 西関東吹奏楽コンクール 銀賞に輝く



第13回西関東吹奏楽コンクールが9月15日に所沢市民センターで開催されました。30団体が出場した中学校Bの部では、審査の結果、寄居中学校が見事銀賞に輝きました。

部長の野辺詩織さんは、「私たち吹奏楽部は、1年生21名、2年生11名、3年生24名の計56名で活動しています。基礎に重点を置き、良いサウンドを作るにはどうしたらよいかを一人ひとりが考え、意見を出し合いながら毎日練習を積んできました。そして、地区大会金賞、県大会銀賞に続き、西関東大会でも銀賞を受賞することができました。県代表としての誇りと責任を持ち、最高の演奏ができたと思います」と話してくれました。

ビックリ! ジャンボひょうたん

齊藤芳明さん(上平・下小路)は、自宅で「ジャンボひょうたん」を栽培しています。大きいものは高さ60cm、胴回り100cmにもなり、車や散歩で通りかかると人の目を釘付けにしています。「大きいひょうたんは珍しく、栽培方法は、土作りから勉強しました。来年はもっと大きく育てたいですね。栽培したい方は、ご連絡ください」と話してくれました。

齊藤さんのひょうたんは、産業文化祭で展示する予定です。



鉢形城歴史館 入館者5万人達成!

8月31日、鉢形城歴史館が入館者5万人を達成しました。平成16年10月にオープンして3年足らずの期間での達成となりました。このような短期間での達成は、平成18年に「日本百名城」に認定され、今年度からスタンプラリーが始まったことも、入館者数の増加につながったものと思われます。

記念すべき5万人目のお客様は、横浜市在住の菱田吉彦さんご夫妻です。奥様は、鉢形城北北条氏邦の家臣井上三河守の子孫にあたる方で、雨天にもかかわらず来館されました。梅澤泰助教育長から認定書と記念品を授与された菱田さんは、「武州鉢形城」という本を読んで訪れたくなりました。ご先祖様ゆかりのお城で、これも何かの縁でしょう」と感激されていました。



ヨーコ・ゼッターランドさんを迎え 「バレーボール教室」開催

町では9月2日、総合体育館・アタゴ記念館において、元オリンピック選手のヨーコ・ゼッターランドさんを講師に迎え、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業として「バレーボール教室」を開催しました。

教室には、町内のスポーツ少年団員や中学生のバレーボール部員ら約120人が参加しました。

指導は、ストレッチから始まり、実践的なパス、レシーブ、スパイク練習へと進み、楽しみながらも集中して指導を受けていました。

参加者のひとり、萩原万智さん(折原ジュニアバレー)は、「ヨーコ先生は、ていねいに教えてくれてとてもわかりやすかったです。私も早く先生みたいに上手になりたいな」と話してくれました。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは
広く社会に役立
てられています。

寄居中学校の3年生 議会見学

寄居中学校の3年生が、社会科の授業の一環として9月4日、5日の2日間、寄居町議会を見学しました。

社会科の学習の中で、6月に寄居町の税金についての話を伺い、それをもとに地方自治について理解し、さらに実際の議会を見学することで、地方自治の基本的な意味や地方公共団体の仕事としてどのようなものがあるか、学習を深めることができました。

田口僚子さんは、「7月に税務課の方から寄居町の税金のお話を伺い、住みよい町づくりのために町長さんや議員さんが努力されていることがよく分かりました。そのおかげで私たちは、安心安全な生活を送れているのだと思いました」黒田真輝さんは、「議会を傍聴して、『子育て支援』という自分でも知っている言葉を聞きました。自分の町でも身近な問題として話し合いが行われることに感激しました。傍聴できて本当によかったです」と話してくれました。

